

# 「聴いて・考えて・つなげる」通信



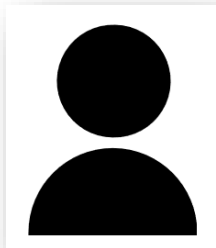
授業力向上委員会では授業力向上アンケートを随時受け付けています。この場を借りて解決していきたいと思えます。シリーズで続いていくといいなあ。

## アンケートシリーズ第2回

何か良いアイスブレイクがあれば教えてください。  
授業で活用していきたいです。

既読

■■先生



分かります。少し雰囲気や和ませて、意見が出やすい環境を作ってから授業に入ると生徒の反応も違ってきますもんね。そんな風に使えるものをいくつかご紹介しましょう。

- ①授業に入る前にクラスの緊張をほぐす
- ②コミュニケーションを円滑に
- ③生徒同士の理解を深める
- ④積極的に授業に参加できるように
- ⑤まちがってもいいから自分の思いを言えるようになってみよう。

実際にやってみて、友達の意見に対しての反応の仕方→同じ意見の時、間違った時にどんな言葉かけるのか。自分の意見をどうやって述べるのか→なんとはいえいいのか、わかる時、分らない時、間違ってしまった時、などを教師がアドバイスをするなど、その後の授業の振る舞いにつながるような声掛けができるといいなあと思えます。

私たちは常に様々な背景(文化・国・性別・宗教等)を持った生徒を相手にしていることを心得ておく必要があります。中には、このような取り組みに負担を感じている生徒もいることを頭に入れておくと、声掛けなどが違ってくると思います。その時の教師の発言はその後の雰囲気を作ります。生徒は教師をよくみています。授業をするクラスの様子を見てルールなどの変更も必要だと思えます。アイスブレイクをする時は普段の生徒の関係がよく見えてくるので、意外な生徒の姿を見つけて授業のなかで活躍の場を作っていけるといいですね。 文責 ■■

詳しくは [teacher→13人権教材](#) のところに入れておきますのでご自由につかってください。

### 📢出張レポーター📢

生徒全員にお互いをインタビューする出張レポーターになってもらいます。生徒は2つの質問を考え、最低4人にインタビューします。例えば、一人が4人にインタビューし、「兄弟姉妹は何人いますか?」「好きな映画は何ですか?」と聞きます。その他、家族、ペット、特に興味を持っていることや達成したこと、好きな食べ物や場所、尊敬する人などについて質問することができます。

代案として、生徒に質問の案をあげさせ、指導者が黒板に書き、各自そのリストから質問を選択してインタビューすることにしてもよいでしょう。

生徒は二つ質問を考えたら他の生徒と交わり、お互いにインタビューし、相手の名前と答えを書きます。10分ほどたったら、指導者が生徒を一人一人紹介し、出張レポーターたちにその生徒についてインタビューで知ったことを紹介してもらいます。例えば「こちらは〇〇さんです。出張レポーターの皆さん、特ダネはありますか?」などと言います。

### ♠二人の説明♠

鉛筆などのものを手に取り、生徒にその名前や使い方を知らないふりをするように言います。生徒はどのようにしてそれを説明するのでしょうか。「長くて、細くて、鮮やかな色の黄色です。片方の端はとがっていてもう片方の端には消しゴムがついています。」などというかもしれません。

その後、他人には見えないようにしながら、二人の生徒に何か小さなものを見せます。二人に名前や使い方を言わないで、それを説明するように言います。聞いている生徒に、それが何か当てさせます。誰かが当てたら、説明のどの部分が最も役に立ったか話し合います。